

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域づくり	施 策	①安全・安心な生活の確保と警察活動の強化
			施策の小項目名	○治安について著しく不安を与える犯罪等への対応強化
主な取組	サイバー犯罪対策事業		対応する成果指標	特殊詐欺認知件数
施策の方向	・犯罪発生数は一定数減少しているものの、県民の安心感を更に向上させるために、治安について著しく不安を与える犯罪、社会情勢の変化に伴って多様化する特殊詐欺、サイバー空間の脅威、薬物犯罪、国際テロ等の犯罪への対応強化に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
インターネットが社会・経済の根幹を支えるインフラとして機能している一方で、サイバー犯罪は手口が悪質・巧妙化しながら増加している。県民が安全で安心してインターネットを利用するために、各種資機材を整備し、サイバー犯罪の検挙活動を推進する。	県	県民のサイバーセキュリティ意識の向上		
		サイバー犯罪に係る防犯講話の実施回数（累計）		
		570回	585回（1,155回）	600回（1,755回）
担当部課【連絡先】	県警本部生活安全部サイバー犯罪対策課		【 098-862-0110 】	関連URL
				—

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名		サイバーセキュリティ対策			サイバーセキュリティ対策		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	21,921	22,967	県単等	直接実施	28,536	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
各種解析用資機材を整備し、サイバー犯罪の捜査及び情報技術解析を支援したほか、各種研修等を実施した。				引き続き、各種解析用資機材を適切に整備し、サイバー犯罪の捜査及び情報技術解析を支援し、研修等の充実により職員の対処能力向上を図る。			
活動指標名	サイバー犯罪に係る防犯講話の実施回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	472回	531回	671回	585回（1,155回）	100.0%	順調	防犯講話を実施することにより、サイバー犯罪やネットトラブルの被害防止を図った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
サイバー犯罪の被害抑止に向けた防犯講演を実施し、サイバー犯罪の未然防止に効果を発揮している。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
○解析用資機材の整備の推進及び高度な解析ができる捜査員等の育成する。 ○解析用資機材等活用したサイバー犯罪取締りの推進し、被害発生時には状況を把握し、早急な広報等を実施することにより、同種事案の被害拡大防止を図る。 ○県内関係機関とサイバー犯罪の手口等の情報共有など連携を図り、サイバー犯罪被害の未然防止を推進する。				○高度解析用資機材の予算を獲得したほか、eラーニング等を活用した捜査員への研修を実施した。 ○ウイルス罪等が発生した際に、整備した各種資機材を活用して捜査を実施し、被害拡大防止のための助言等を行った。 ○県内金融機関との防犯連絡会議及び県内プロバイダ等と協議会を開催し、新たなサイバー犯罪の手口等の情報共有を行った。			

3 取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	高度サイバー犯罪に対処するための資機材が不足しているほか、それら資機材を活用できる捜査員等の育成が必要である。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	情報セキュリティ対策が遅れている中小企業を狙ったサイバー犯罪の増加が懸念される。

4 取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	引き続き必要な解析用資機材の整備を推進し、高度な解析ができる捜査員等を育成する。
② 連携の強化・改善	県内関係機関とサイバー犯罪の手口等の情報共有や連携を図り、サイバー犯罪被害の未然防止を推進する。